

欧州における高等教育の障害者支援 HEAG データベース

広瀬 洋子

本稿では、経済の統合を目指すEUにおける高等教育の学生支援の動向と、2004年度にEUのEuropean Agency for Special Needs Education（特別な配慮を要する教育の開発のための欧州機関）が中心となって作成した「HEAG database, The Higher Education Accessibility Guide in European Countries：欧州諸国における高等教育アクセシブルガイド」の日本語版データベースを紹介する。この日本語版は、2004年にNIMEの「多様な学生への支援：障害者支援プロジェクト」が、European Agency for Development in Special Educationの許諾を得て作成し、現在NIMEウェブサイトからも、閲覧可能である。

キーワード

障害者、高等教育、欧州連合（EU）、データベース

はじめに

筆者は2004年7月にオーストリアのインスブルックで開催された「第5回－高等教育における障害者支援の国際会議」に参加した。欧州の大学間交流を活発にさせるためには、学生支援、なかでも障害者支援の水準を向上させ、平準化させようという熱い動きが感じられた。本稿では、EUのこうした動きを概観するとともに、EUのEuropean Agency for Special Needs Education（特別な配慮を要する教育の開発のための欧州機関）が中心となって作成した「HEAG database, The Higher Education Accessibility Guide in European Countries：欧州諸国における高等教育アクセシブルガイド」の日本語版データベースを紹介する。これは2004年にNIMEの「多様な学生への支援：障害者支援プロジェクト」が製作し、ウェブサイトに掲載しているものである。

1. 経済の統合は教育の統合から：動き出したEU

欧州の高等教育機関で障害者支援の問題が表面化したのは80年代末から90年代初頭である。70年代に支援システム作りが始まった米国と比べると、欧州の場合、北欧諸国を除けば20年は遅いと言えるだろう。「第5回－高等教育における障害者支援の国際会議」は4日間に及び、参加者は欧州25カ国、北米、オーストラリア、ニュージーランド、インド、アフリカ、日本から総勢60余名

の大学関係者であった。この会議は、1992年に始まり、1995年、1998年、2001年、2004年と今回で5回目となる。米国の「Association on Higher Education and Disability (AHEAD)：高等教育と障害者協会」の年次総会に2002年に参加した筆者としては、内容において米・カナダ・オーストラリアと欧州を比べると、かなりの隔たりを感じた。米国・カナダ・オーストラリアの場合は、ほとんどの大学は障害者支援部局を持ち、視覚障害・聴覚障害などへの対応システムは確立している。研究分科会のテーマも学習障害者への対応や、ITや先端機器を活用した支援などが多い。しかし、欧州の会議では、視覚・聴覚障害者へのサポートや、大学に支援局を作る方法などが中心課題であった。2010年までにサポートを確立し、平準化しようというEUは、各国に高等教育における障害者支援のコーディネータを置き、ウェブサイトを活用しながら情報交換や研究会を開催するなど精力的に動き出した。

高等教育の障害者支援に対するEU諸国の熱意の現れとして、EU政府によって特殊教育分野の協力関係を強化する目的で設置された「特殊教育向上のための欧州機関」(European Agency for Development in Special Needs Education)の活動がある。高等教育では、科学や技術分野での人材交流を目的として、大規模な学生や教員の流動性を促進するエラスムス計画の存在が大きい。1987年から始まったこの計画は、2004年現在、年間約10万人の長期・短期の留学(参加国30カ国、1,800校以上)が行われており、当初からの累計は約75万人の学生と12,000人以上の教員の交流が行われている。これらの事業を成功させる上でも、各国間の学生支援の格差を是正

することは必要不可欠な課題である。先に紹介した「特殊教育向上のための欧州機関」の高等教育部門では、障害のある学生のEU内での交流や留学を容易にするために、2001年に『外国留学:障害学生のための欧州ガイド』(Studying Abroad, European Guides for Students with Disabilities)、2004年にはEU内17カ国の高等教育の障害者支援情報を網羅した、13カ国語の翻訳機能つきデータベースをウェブ上で提供している (www.heagnet.org)。EU政府によって2010年を目標に参加国全体の高等教育機関の学生サービス、障害者支援を共通の水準に底上げし、EUのどこにいても一定の支援が保障される事を目指している。経済の統合を目指すEUにとって、教育の統合、とくに高等教育における学生や研究者、教員の相互乗り入れは不可欠なものであるからだ。

2. 各国の相違の要因

欧州の状況を概観すると、その多様さに単純な比較さえ困難を極める。しかし、欧州を含め各国の高等教育で学ぶ障害者の在籍数が、いくつかの社会・政治的要素と深い因果関係をもつことが推測できる。第一に、世界的に見て、国が政策として統合教育と分離教育のどちらを推進しているのかに由来する傾向がある。日米の比較でも明らかであるが、例えば、統合教育を採用するカナダオンタリオ州の障害学生の比率は8.9%で、統合教育がまだ実験段階であるフランスでは0.32%である。第二に、国の差別禁止政策に由来する傾向である。世界に先駆けて強力な法的拘束力を持つADAを制定した米国の高等教育は、機関による個々の支援内容に違いはあっても、総体としての支援システムにおいては世界一の水準を持っているだろう。欧州の障害者差別禁止関連の法律は、フランスでは1990年、英国では1995年、ドイツは2002年に制定された。こうした法令を持つ国では財政援助も確立され、障害学生の増加は顕著である。一方、スイスのように法令が欠如している国では、高等教育への進学が権利として認められていないので、90%以上の障害学生が必要な支援を受けられない状況にある。第三には、大学における支援システムや内容に関連した傾向、第四には大学卒業後の社会の受け入れ態勢も大きな影響を及ぼしていると思われる。

3. 取り残される日本の障害学生支援

日本の現状を振り返ると、分離教育が主流であり、差別禁止法は制定されておらず、大学における支援システムも個々の大学が個別に奮闘するのみで、国家によるサポート体制は整備されていない。日本の大学の教育や研究の水準を世界の上位に押し上げる事の重要性がさかんに叫ばれているものの、これでは障害のある研究者も学

生も日本の大学に安心して研究や留学に来られないだろう。障害者への高等教育の充実、世界的潮流となりつつある。EUは大学の障害者支援を一定の水準に引き上げるために、十数年の歳月と膨大な予算をかけて取り組んでいる。日本の大学の国際化を考えた場合、このままでは、米国、カナダ、豪州、EUといった先進諸国の大学との間に、障害者支援や学生サービスの分野で益々大きな格差が生じてしまうだろう。日本でもITを駆使した情報提供や連携、大学間コンソーシアムの確立など迅速な対応が求められている。

4. 欧州の高等教育機関のアクセシビリティサービスのガイド

前述した、EU内17カ国の高等教育における障害者支援データベース (<http://www.european-agency.org/heag/>) の日本語版を以下に紹介する。内容はウェブ上のものをそのまま掲載している (<http://www.nime.ac.jp/%7EDisable/database.htm>)。

HEAGによる。欧州を横断する高等教育機関のアクセシビリティサービスのガイドです。

このデータベースは、ヨーロッパの17カ国の障害者支援サービスに関する一貫した情報を提供することを目的としており、留学や学生交流の活動のための可能性について学生や教員が決定するさいに役立つでしょう。

HEAGデータベースは、専門家サービス、アクセシビリティサポートに関して、オーストリア、ベルギー (フレミッシュ語圏)、ベルギー (フランス語圏)、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイスランド、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、英国、の情報が記載されています。

このプロジェクトはthe Catholic University Leuven, Belgiumの協力のもとにEuropean Commission, DG Education and Cultureがサポートしています。

開発と運営はEuropean Agency for Development in Special Needs Educationが行っています。

オーストリア

より正確な各大学の状況を知るためには、それぞれの大学のアドバイザーに直接連絡してください。

大学のリスト:

<http://info.tuwien.ac.at/uniability/sowieso/index.html>

専門学校のリスト:

<http://www.oead.ac.at/studyoe/Fachhochschulen/Default.htm>

視力障害のある学生への技術的な支援は、各大学で利用可能です。障害または慢性病をもった学生のために、試験を受けるときの特別な配慮やテープ録音を行うという法規定があります。しかしながら、大学は必要とされる支援すべてを提供する責任までは負っていません。大学は障害のある学生の学業支援のために、ケース・バイ・ケースで対応しています。

[プロジェクト・パートナー連絡先]

University, -Ass. Dr. Gottfried Wetzel o: p>

University of Salzburg

Department of Educational Research

Akademiestraße 26/2

5020 Salzburg

<http://www.sbg.ac.at/erz/people/wetzel.htm>

[経済的支援]

障害または慢性病を持ったオーストリアの学生のために、Uniabilityのホームページでは、家族への支援、研究補助金、研究設備への支援、車の購入への助成などに関する情報にアクセスできるようになっています。奨学金に関しては、以下のサイトで詳しく紹介しています。

<http://www.studienbeihilfe.bmbwk.gv.at/>

基礎的な奨学金に加えて、障害の度合いが強い学生(少なくとも50%のハンディキャップ)は、障害の等級によって補助金を受け取ることが出来ます。

すべての大学生はタームごとに授業料を払わなければなりません。EU各国、リヒテンシュタイン、アイスランドおよびノルウェーの学生は363ユーロ、その他の国からの学生は726ユーロです。

- ・学習支援とケアは介護保険によって助成されます。足りない場合は、地域の社会福祉支援よりカバーされません。
- ・医療費補助は保険会社によって助成されます。
- ・学業生活を支援するための特別なサポートにかかる費用は、社会福祉支援より助成されます(例:技術的なサポート、手話通訳、個人的な介助、手続き等代行、宿泊施設、交通手段など)。

外国人学生

オーストリアの大学に入学を希望する外国人学生は、オーストリアのものと同程度の中等教育の卒業証明書が必要です。EC加盟国以外の国からの留学生は、9月1日、もしくは2月1日までに大学に申請書が届くようにしてください。

[遠隔教育]

オーストリアにはオープン・ユニバーシティはありませんが、ハーゲンにあるドイツの通信教育大学を利用することが出来ます。フルタイム学生は約250ユーロ、パートタイム学生は約150ユーロの学費が、タームごとにかかります。

<http://www.fernuni-hagen.de>

通信コースを支援のために、学習センターが現在3箇所に設置されています(Bregenz, Steyr, Vienna)。学習センターでは、学生はチューターに勉強について(無料で)相談できます。

障害もしくは慢性病を持った学生に対する支援:学習の場所、時間は自由に選べます。わざわざ大学に来る必要はありません。学習機材は自宅に直接送られます(学習パンフレット、CD-ROM、インターネットを通して等)。詳しくは以下のサイトまで

<http://www.esc.ac.at>

[障害もしくは慢性病を持った学生への情報]

学習支援にかかる経費、宿泊設備、試験の方法等に関する質問は以下のサイトまで

<http://info.tuwien.ac.at/uniability/sowieso/index.html>

(障害のある学生のためのカウンセラーのリスト)

視覚障害のある学生は勉強面に関して全面的にサポートを受けることが出来ます(現在はリンツ大学、ウィーン工科大学、グラーツ大学において可能です)。

聴覚障害のある学生に関する情報は以下のサイトまで

<http://www.uni.klu.ac.at/groups/spw/gs>

<http://www.gewi.kfunigraz.ac.at/uedo/signhome/startgebaerd.html>

外国人学生(障害もしくは慢性病のある学生)のための情報

・教育、科学および文化省: <http://www.bmbwk.gv.at>

ベルギー・フランス

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Mrs. Pascale DUBOIS, University of Mons-Hainaut (精神教育カウンセラー)

C.I.C.O. (情報、カウンセリングおよびオリエンテーションセンター)のマネージャーです。

Pascale DUBOIS - Information, Counselling and Orientation Centre

Campus des sciences humaines

Ruelle du Cerf Blanc, 4 at 7000 Mons

tel : 065/37.30.96(98)

fax : 065/37.30.54

cico@umh.ac.be

[経済的援助]

学生に対する経済的な援助は、厳密な基準に沿って行われます。

ベルギー人学生

学業成績の審査、及び大学卒業レベルのディプロマ取得の可能性を考慮して、経済的援助が行われるかどうか判断されます。

外国人学生

学業成績の審査、及びEU加盟国の国民であり、ベルギー

に居住しているかどうか（親がベルギーで雇用されているかどうか）が問われます。

奨学金や学生ローンに関しては、下記のサイトを参考にしてください。

<http://www.cfwb.be/dalloc>

[リンク]

<http://www.cfwb.be/dalloc>

奨学金、学生ローンに関するサイト

<http://www.cfwb.be/infosup/pg050.htm>

外国の教育機関のディプロマに関するサイト

<http://www.awiph.be>

障害のある人々の社会復帰のための Wallon Agency のサイト

<http://www.cfwb.be/ciuf/index.htm>

フランス話圏コミュニティにある大学間交流カウンシルのサイト

<http://www.ona.be>

視覚障害者の全国ネットワークのサイト

<http://users.skynet.be/lalumiere/CBPAM/CBPAM.htm>

CBPAMは視覚障害者のためのベルギーにおける連合団体です

<http://www.braille.be>

点字協会のサイト

<http://www.amisdesaveugles.be>

視覚障害者の全国ネットワーク支持者のサイト

<http://www.cfwb.be/gouver/cabinet.dupuis/pg002.htm>

高等教育・科学研究大臣のオフィスのサイト

ベルギー・フランス語地域のためのエラスムス機関：

Place du Parc, 20 at 7000 Mons (Belgium)

tel : (32-65) 37.36.60

fax : (32-65) 37.36.62

agence.erasmus@umh.ac.be

[特別な配慮]

高等教育機関の学生のために：

- 聴覚もしくは視覚障害者に対する学業サポートがあります。口頭での説明、繰り返し、技術的な支援など。
- 職を得るための支援
- 障害があるために奨学金が受けられない、優秀な学生に対する授業料支援。

[遠隔教育]

University of Mons-Hainautの心理学・教育科学部では、「心理学と教育におけるコンピュータ」というe-ラーニングのコースを取ることが出来ます。

詳細は以下のサイトで：<http://www.umh.ac.be/ute>

ベルギー・フランドル

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Annemie Van Diest

Study Advisory Office

Naamsestraat 63

B-3000

Leuven

Belgium

tel : +32 16 32 43 23

annemie.vandiest@dsa.kuleuven.ac.be

[経済的な支援]

国内学生

- a) 学生は奨学金を申し込むことができます。ただし、親の収入額によります。
- b) 障害のある学生は20歳まで特別児童扶養手当が与えられます。20歳を過ぎると、総合手当に変わります。
- c) すべての高等教育機関は社会支援サービスを行っています。そこでは、学生は経済的な援助を申し込むことが出来ます。奨学金の配分については、個々の教育機関の采配に任されています。

外国人学生

すべての高等教育機関は社会支援サービスを行っていますが、経済的援助は限られています。

[リンク]

<http://www.vvs.ac>

フランドル地域の学生組合。奨学金に関する情報があります。

省庁

a) <http://www.fgov.be>

社会問題、児童扶養手当および代用収入に関するプログラム

b) <http://www.vlaanderen.be>

教育と福祉プログラム

c) <http://www.vlafo.be>

技術的な支援、雇用促進、障害のある人々の社会復帰のための基金による組織

[特別な配慮]

- a) 医療とパラメディカルによるケアは、政府の指導の下、健康保険システムによって組織されています。
- b) 技術的支援と社会復帰のために、障害のある人々のためのフランドル基金に資金援助を申し込むことが出来ます。
- c) 教育に関する技術的支援に関しては、フランドル地域省の教育課に申請することが出来ます。

[遠隔教育]

オープン・ユニバーシティ・センター

Kapucijnenvoer 33

3000 Leuven

info@dpav.kuleuven.ac.be

デンマーク

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Willy Aastrup (Head of the Studycentre at the University of Aarhus)

Aarhus, Studycentre

Jens Chr. Skous Vej 3

DK-8000 Aarhus C

Denmark

tel : +45 8942 2370

e-mail : studiecenter@au.dk

[経済的支援]

国内学生

障害のある学生が高等教育機関に入学した場合は、教育補償支援 (SPS) のための機関に申請することができます。そこではどのくらいの補償支援が必要なのか判断しますが、資金は文部省から支給されるので、文部省が決定権を持っています。補償支援の必須条件は補償によって学習支援が可能なことと、学生自身がきちんと勉強をしているということです (試験に受かっている等)。教育補償支援以外の、交通手段の支援・日常生活のための援助・耐久消費財・特別な住宅ニーズなどへのサポートは教育機関の責任ではなく、地方自治体によって提供されなければなりません。

外国人学生

外国人も SPS を受けることができますが、条件を満たさなければなりません。条件を満たせば、デンマークでの教育のためでなく、海外で受ける教育に対しても (デンマークでの教育の一部として) SPS を受けることができます。

交換学生 (デンマーク国民でないこと) は SPS を受けることは出来ません。しかし、関係機関に問い合わせることが必要です。外国で勉強するデンマークの学生のように、自国の機関から特別奨学金を受けることが可能です。

[リンク]

www.uvm.dk 文部省のホームページ

www.eng.uvm.dk (英語)

www.su.dk

国の教育奨学金およびローン計画に関する機関 (SUstyrelsen)

www.ciriusonline.dk

デンマークの教育とトレーニングに関する情報機関 (CIRIUS) のホームページ。Cirius はヨーロッパ連合の三つの主要教育プログラム (ソクラテス、レオナルド、ユース)、及び他の多くの国際協力に寄与する教育とトレーニングのプログラムのためのコーディネイト機関です。

www.handicap.dk

デンマークの障害のある人々の全国組織 (カウンスル)

のホームページ。

www.clh.dk

均等委員会センターのホームページ。英語でデンマークの障害者政策を載せています。

[特別の配慮]

デンマークでは、高等教育に必要な入学資格は高等学校修了です。入学審査は年に一回春に行われ、志願者は審査の結果、成績のよい順番に選ばれます。したがって、人気のあるコースは大変高い得点が必要されます。障害のある学生は、入学資格のうちのいくつかの免除を申し込むことができます。各教育機関においてケース・バイ・ケースで審査されます。また、障害のある学生は教育機関/大学学部が規定する特別な試験の方法もしくは試験免除を申請することが出来ます。デンマークの高等教育機関には、障害のある学生用の特別なコースやプログラムはありません。

[遠隔教育]

他の国と同じようにヴァーチャル・コースに注目が集まっていますが、現在障害のある学生のニーズに合わせた特別なコースはありません。また、そういったコース及びプログラムの計画もありません。

フィンランド

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Ms. Liisa Laitinen

Information and Counselling Office

P.O.Box 3 (Fabianinkatu 33)

FIN-00014 University of Helsinki

Tel. : +358 9 191, 2246

e-mail : liisa.laitinen@helsinki.fi

[経済的な支援]

国内学生

国内学生に対する経済的支援は、主に社会保険機関 (Kela) によって行われています。この支援は学業支援またはリハビリテーションのための奨学金で、他の学生に対する一般的な奨学金と異なる点は、返還する必要がないということです。特に障害が重い学生に対しては、Kela から障害年金が支給されます。

大学および高等教育機関が障害のある学生に対して、追加コスト (介護人、技術的支援、移動補助) を直接助成しません。こういった経費は学生の居住地の自治体もしくは Kela によって助成されます。

外国人学生

外国人学生に関しての経済的支援は、ケース・バイ・ケースです。フィンランドの大学は介護人、技術的支援、移動補助などの支援に対して助成しませんので、自国の大学もしくは公的資金からどんな支援が受けられるのか、自分で調べる必要があります。

交換留学プログラム (例えばエラスムス) の学生の場合、

特別な資金援助を受けられる可能性があります。

[リンク]

<http://celialib.fi>

Celia (視覚障害者のための図書館)

<http://cimo.fi>

The Centre for International Mobility (CIMO)

文部省の一部で、エラスムス交換留学プログラムの担当機関

www.kela.fi

社会保険機関のホームページ

<http://oph.fi>

National Board of Education 特別なニーズを持つ学生へのガイドブックが掲載されています。ガイドブックはスウェーデン語でも閲覧可能です。<http://oph.fi/svenska>

<http://opintoluotsi.fi>

フィンランド国内の公教育に関する情報が得られます。

[特別な配慮]

大学もしくはポリテクニクに入学するためには、一定レベルの基礎的な教育を受けていることが必須条件です。入学者は年に一回、国の大学入学試験や学校での成績などで決定されます。フィンランドでは教育費が無料なので、大学や他の高等教育機関において学費はかかりません。

オープン・ユニバーシティは基礎的な教育を受けていなくても入学できます。申し込み順に入学を受け付けますが、学費もかかります。オープン・ユニバーシティで学位取得は出来ません。

[遠隔教育]

フィンランドの遠隔教育は、主に市民大学、労働者大学、オープン・ユニバーシティで行われています。これらの教育機関では学位取得はできませんが、職業的スキルや一般教養を身につけることが出来ます。

フィンランドではITネットワークの利用が進められています。大学でヴァーチャル・コースの活用が進められていますが、今のところ特に障害のある学生向けにデザインされた遠隔教育のコースはありません。

フランス

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Jean Jacques MALANDAIN, University of Rouen

Maison de l'Université

F-76821 MONT SAINT AIGNAN

tel : 33-2-32-76-92-51

fax : 33-2-32-76-92-51

e-mail : Jean-jacques.malandain@univ-rouen.fr

[経済的な支援]

フランスでは各大学に特別なニーズを持つ学生への支援を担当する職員がいます。担当職員は学生が問題なく学業生活を送れるように、大学のプログラムをモニターし

調整しなければなりません。

外国に留学するフランスの障害のある学生は、フランス国内で受ける奨学金をそのまま受け取ることが出来ます。

エラスムス・プログラムの学生は、通常のエラスムス奨学金とは別に、ECファンドから特別手当が支給されるでしょう。

フランスで勉強する外国人学生は、自国からの奨学金と、エラスムスから支給される手当を受けられる場合があります。フランスに入国する前に経済的な準備は終了するようにしてください。

[リンク]

<http://www.education.gouv.fr>

文部省

Michelle PALAUQUI (高等教育機関のための国政コーディネーター)

Michelle.Palauqui@education.gouv.fr

障害者担当省 : <http://www.sante.gouv.fr>

国立ソクラテス・レオナルド機関 :

<http://www.socrates-France.org>

Marie-Jose BIONDINI (エラスムス・アドバイザー・カウンセラー)

marie-jose.biondini@socrates-leonardo.fr

CNOUS (宿泊・レストラン社会福祉事業) :

<http://www.cnous.fr>

AGEFIPH (障害のある人を含む専門家) :

<http://www.agefiph.asso.fr>

[フランスの特別なイニシアチブ]

University of GrenobleのSAUHにあるリソース・センター(CERRALP)では、障害のある学生が平等に教育を受けるための知識と経験のデータが集められています。

[遠隔教育]

文部省によって組織されたCNEDでは多様な遠隔教育プログラムを提供しています。

<http://www.cned.fr>

accueil@cned.fr

ドイツ

ほとんどのドイツの大学は、障害または慢性病の学生に関連するどんな質問にも喜んで答えてくれる障害支援担当官がいます。彼らに早めに連絡を取って下さい。

www.studentenwerke.de

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Deutsches Studentenwerk (勉強と障害に関する情報およびカウンセリング・オフィス)

Monbijouplatz 11

10178 Berlin

studium-behinderung@studentenwerke.de

www.studentenwerke.de

[経済的な支援]

国内の学生

一般的な生活費：国からのローン及び補助金（BAföG）
-いくらぐらい給付されるかについては、親の収入の額
や奨学金の内容などによって異なります。

補助・介護ケア：介護保険から助成されます。介護保険
でまかないきれない部分については、地域の社会保障局
から助成されます。

医学的支援：健康保険会社から助成されます。

学業生活に必要な支援：各地域や国の社会保障局から助
成されます。（例：技術的支援、手話通訳、個人的ニー
ズ支援、ノート・テイク補助、宿泊設備、移動（交通）
など）

外国人学生

支援を受けるためには一定の基準を満たしていることが
必要です。コースが始まる前に、生活費や障害に関連し
たコストを（自力で）カバーできることを証明しなけれ
ばなりません。国の教育補助（BAföG）が受けられるの
は、例外的なケースのみです。

基礎的な研究段階（Grundstudium）の後に学費を調達
することも可能です。奨学金の申請をしましょう。

外国人学生に対して社会保障や介護保険から助成金が出
るのは例外的なケースです。しかし、一般的に視覚障害
者に対しては割引があります。

[遠隔教育]

ハーゲン通信教育大学（FernUniversität Hagen）はドイ
ツで唯一の公立通信教育大学です。

www.fernuni-hagen.de

その他に、応用科学（Fachhochschule）の大学にも、通
信教育コース（学位取得が可能）があります。

障害もしくは慢性病がある学生にとって、遠隔教育の利
点は次のとおりです：

- ・学生自身が勉強の場、時間を選ぶことができます。日
常的に大学に来る必要がありません。
 - ・教材は自宅に直接送られてきます（研究パック、CD-
ROM、インターネット）。
 - ・必要があれば、自宅のある町で試験が受けられます。
- 何か質問があれば、大学に問い合わせてください。

www.ag-fernstudium.de

www.uni-oldenburg.de

[リンク]

www.studentenwerke.de/beratung/liste.htm

各大学の障害支援担当官のリスト

利益団体及び学生組織：

www.dvbs-online.de

視覚障害のある学生と教職員のための会

www.bhsa.de

聴覚障害のある学生と卒業生のための協会

www.selbsthilfe-online.de

www.fu-berlin.de/service/behinderung/links.html

利益団体、助成団体の広範囲なリスト

大学の国際オフィス（Akademische Auslandsämter）：

www.studienwahl.de

すべての学位取得コースと大学の場所についての情報

www.hochschulkompass.hrk.de

高等教育機関および学位取得コースについての情報

www.daad.de

ドイツ交換留学サービス（DAAD）

ギリシャ

特定の制限がある学部以外では、ギリシャの高等教育機
関では障害のある学生を受け入れています。（例えば、
盲目の学生は医学部に、聾者の学生は体育学部・演劇学
部には入学できません）。

ギリシャの高等教育機関では、全体の3%以上にあたる
障害のある学生を毎年受け入れています。オープン・ユ
ニバーシティでも同様です。高等教育機関では、特に障
害のある学生のためのアドバイザーはいません。障害の
ある学生は大学の事務局に連絡をとって、必要な支援体
制の準備についてあらかじめ話し合っておくことが必要
です。

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Dr. Despina Sidiropoulou-Dimakakou（アテネ大学心理学
部準教授）

University of Athens

School of Psychology

Department of Psychology

School of Philosophy

Panepistimiopolis-Ilissia

GR-15784 Athens GREECE

tel：0030 210 7277571

fax：0030 210 7277534

e-mail：dsidirop@cc.uoa.gr

[経済的支援]

国内学生

ギリシャの高等教育機関では、学費及び受験料はかかり
ません。大学生、または大学院生はローンを組むことが
出来ます。また、大学で行われるリサーチ・プロジェクト
や実験ラボでバイトをすることも出来ます。

外国人学生

外国人学生はローンを組むことが出来ません。EUから
来た学生は（ギリシャ人学生と同じ条件で）アルバイト
が可能です。ギリシャの高等教育機関は障害のある学生
のために経済援助、技術的支援、交通の補助などは行い
ません。

[リンク]

支援組織

Greek National Federation of People with Special Needs
1 Millerou Str. -10436 Athens
tel : 0030 210 5238961, fax : 0030 210 5238967

Greek society of Disabled University Students
87 Georgiou Papandreous Str. -15773 Athens
tel : 0030 210 7750837, 210 7650168

Greek Association of People with Visual Impairment
31 Veranzerou Str. -10432 Athens
tel : 0030 210 5222112, 210 5228333, 210 5228365
fax : 0030 210 5222111

Greek Association of People with Paraplegia
39 Giannari & Paraskevopoulou Str. -104445 Kato Patissia,
Athens
tel : 0030 210 8312740, fax : 0030 210 8310344

Greek Association of People with Thalassaemia
1 Tzavella Str. -10681, Athens
tel : 0030 210 3644682, fax : 0030 210 6450510

Greek Federation of the Deaf
57 Solomou Str. -10432, Athens
tel : 0030 210 5233968

Greek Society for Dyslexia
114 Xenofondos Str. -17674 Kallithea, Athens

省庁
文部および宗教省 <http://www.ypepth.gr>
国立エラスムス機関
I.K.Y. – Foundation of State Scholarships
Directorate of Special Programmes and International
Scholarships
Unit of European Programmes
14 Lysicrates Str.
GR-10558 Athens
tel : (30-1)32.36.690/32.54.385-9
fax : (30-1)33.12.759/32.21.863
e-mail : grikyeok@ath.forthnet.gr
<http://www.iky.gr>

[特別な配慮]

大学に入るためには文部省に申し込みをして、入学試験を受ける必要があります。入学試験を受ける資格のある学生は、高等学校の卒業証明書、それと同程度の教育機関の証明書、もしくはヨーロッパ・バカロレア取得者です。

外国人学生の入学許可に関しては、文部省に問い合わせ

てください。

[遠隔教育]

ギリシャのオープン・ユニバーシティ (GOU) は、大学生および大学院のレベルで遠隔教育を行っています。しかし、今のところ GOU は、エラスムス交換プログラムに参加していません。

アイスランド

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Magnús M. Stephensen

Counselling Service

University of Iceland

Main Building v/Sudurgata

101 Reykjavik

電話 : + (354) 525 4399

携帯電話 : + (354) 847 6402

e-mail : nhi@hi.is

アイスランドの大学では、特別な配慮が必要な学生のためのサービスや設備設置にかかる費用は大学側が負担します。これは、学生がアイスランド国民でない場合でも同じです。学外においても、障害のある学生に対して、交通機関などの地域サービスが充実しています。こういった地域サービスは有料ですが、個人がどのくらいの額を負担しなければならないかは、それぞれの国籍や現住所がどこにあるのかによって違います。

[リンク]

支援組織

<http://obi.is>

<http://www.obi.is/English/Home.htm>

省庁

<http://brunnur.stjr.is/interpro/mrn/mrn.nsf/pages/forsida>

<http://brunnur.stjr.is/mrn/mrn-eng.nsf/pages/frontpage>

国立エラスムス機関

<http://www.ask.hi.is/>

アイスランドでは遠隔教育はまだほとんど行われていません。しかしながら、多くの大学では出席を必要としないセミナー方式の授業が行われています。

アイルランド

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Mary O Grady

Disability Support officer

University College Cork

Ireland

tel : 00-353 21 4902985

fax : 00-353-21 9903123

e-mail : mogrady@reg.ucc.ie

<http://www.ucc.ie/services/dss.html>

国内学生のための資金援助

障害のある学生のための教育省／ESF 奨学金。学費や技術的なサポートを援助するための年単位の奨学金です。

外国人学生のための資金援助

アイルランドに住んで勉強をしている外国人学生は、アイリッシュ基金に申し込むことができます。

[リンク]

国立アイルランド視覚障害者カウンシル：

<http://www.ncbi.ie>

アイルランド障害者連合：<http://ireland.iol.ie/~dfi>

アイルランド均等担当局：<http://www.equality.ie>

高等教育担当局：<http://www.heai.ie>

高等教育へのアクセスと障害者協会：

<http://www.ahead.ie>

国立聴力障害者協会：<http://www.iol.ie/~nad>

アイルランド車椅子協会：<http://www.iwa.ie>

文部省：<http://www.education.ie>

国立エラスムス機関 <http://www.leargas.ie>

<http://www.heai.ie>

[遠隔教育]

OSCAIL は高等教育レベルの学位取得コースとディプロマ・コースを提供して障害のある学生を支援している組織であり、ダブリン市大学の附属機関です。

<http://www.oscail.ie>

イタリア

イタリアでは法令 104/92（障害者の社会参加と支援を受ける権利）によって、障害のある学生に対する特別支援を保障しています。

[プロジェクト・パートナー連絡先]

dott. ssa Elisa Di Luca、

Ufficio Disabilità、

Università degli Studi di Padova

tel：+39-049-8275036

fax：+39-049-8275040

e-mail：elisa.diluca@unipd.it

[学生への経済的支援]

国内学生

2001年4月9日実施の首相の法令により、高等教育機関に在籍するイタリア人学生は、給付金や学費割引の制度を利用することが出来るようになりました。一定レベル以上の障害がある学生が公立大学及び芸術関係の高等教育機関に在籍している場合は、学費免除と奨学金申請への特別な配慮が与えられます。

外国人学生

正規のプログラムを通してイタリアの高等教育機関に留学する外国人学生は、受け入れ側の教育機関が提供するさまざまな学生支援サービスを受けることができます。エラスムス・プログラムの障害学生で、受け入れ側の教育機関から必要な補助サービスを無料で受けることが出

来ない場合は、出身国の国立ソクラテス機関にヨーロッパ委員会の特別奨学金を申請することが出来ます。

[リンク]

文部省：<http://www.miur.it>

福祉省 <http://www.minwelfare.it>

厚生省 <http://www.ministerosalute.it>

イタリア国立ソクラテス機関 <http://www.bdp.it>

障害学生担当者（CNUDD）の全国会議：

http://www.crui.it/comm_def.html

[国による特別配慮]

国内の多くの高等教育機関では、障害のある学生に対して特別な支援を行っています。こういったサービスは外国人学生にも適用されます。大学では障害のある学生に対する特別支援は無料で行われます。

エラスムス・プログラムの学生は、イタリアの国立ソクラテス機関の国際関係オフィスを通して、学業生活に必要な支援のためのコストをまかなう財政援助を申請することが出来ます。

法令 17/99 によって、各大学は障害のある学生の学業生活支援のための専門教員を配置しています。障害のある学生を担当するオフィスがある大学もあり、専門教員と共に学生支援を行っています。具体的には下記のような支援が行われています。

- ・学業支援（手話通訳、コミュニケーションの手助け、ノート・テイカーなど）
- ・付き添いサービス
- ・個別指導
- ・事務スタッフや教員への指導
- ・カウンセリング及び就職相談

[遠隔教育]

高等教育レベルには遠隔教育のコースがあります。しかし、障害のある学生用に特別に配慮されているコースはあまり多くありません。

オランダ

オランダの高等教育機関で勉強をしようと考えたら、なるべく早く（入学の数ヶ月前までに）その機関の障害学生担当のコーディネーターに連絡を取ってください。すべての高等教育機関には、相談担当者がいます。最初に連絡をとった後、特別学生カウンセラーに相談しながらいろいろと準備を進めていく必要があります。

[プロジェクト・パートナー連絡先]

オランダの HEAG パートナーは Handicap+studie（高等教育における障害を持った学生に関する国立の専門家センター）です。

Handicap+studie は障害のある学生と高等教育機関両方のためのヘルプデスクです。

Handicap+studie

postbox 222, 3500AE Utrecht,

the Netherlands

algemeen@handicap-studie.nl

電話番号：0031-302753300 ファックス：0031-302753309

<http://www.handicap-studie.nl>

[経済的支援]

オランダの学生

経済的な学業支援については、いくつかの方法があります。

外国人学生

経済支援について、外国からの留学生はオランダの学生に比べて制限があります。自宅から大学までの交通への経済的支援は、特別なケースのみ可能性があります。また、視覚障害を持つ学生は、視覚障害者用にアレンジされた教科書や他の教材を得られるかもしれません。確かめましょう。

[リンク]

<http://www.handicap-studie.nl>

<http://www.stichtingvademeccum.nl> (高等教育における障害のある学生のための全国組織のサイトです。組織は2000年に始まったばかりですが、非常に活動的で、障害のある学生自身によって運営されています：stichtingvademeccum@yahoo.com)

<http://www.nuffic.nl> (オランダの国立エラスムス機関のサイトです。留学に関する情報が得られます)

<http://www.studyin.nl> (外国人学生にとって興味深いサイトです)

<http://www.ocenw.nl> (文部省のサイトです)

[遠隔教育]

<http://www.ou.nl>

いわゆる“オープン・ユニバーシティ”と呼ばれる遠隔教育用の大学です。障害のある学生に対する特別な配慮がさまざまな形で行われています。

ノルウェー

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Jarle Jacobsen, NTNU

tel : +47 73 59 19 80

e-mail : Jarle.Jacobsen@adm.ntnu.no

[経済的支援]

国内学生

下記のサイトもしくは入学を希望している高等教育機関に直接連絡をとってください。

<http://www.lanekassen.no>

外国人学生

ノルウェーで勉強することについての情報を得るために、まず自国の大学に連絡をとってください。

[リンク]

支援組織 : <http://www.lanekassen.no>

ノルウェー教育及び研究省 : <http://www.ufd.dep.no>

国立エラスムス機構 : <http://www.siu.no>

[特別な配慮]

それぞれの大学、コースで様々な支援体制がアレンジされています。詳しい情報については、HEAG-d-baseを見て、教育機関にコンタクトしてください。

[遠隔教育]

教育機関やコースによっては、遠隔教育が可能です。詳しい情報については、HEAG-d-baseを見て、教育機関にコンタクトしてください。

ポルトガル

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Maria José CORREIA (障害のある学生の支援担当)

tel : +351 239 833816

fax : +351 239 827994

mcorreia@ci.uc.pt

Maria Isabel PATRÍCIO (障害のある学生のためのコーディネーター)

tel : +351 239 832432

fax : +351 239 827994

gatped@ci.uc.pt

www.uc.pt

Rosa MORAIS (キャリア・ガイダンス担当)

tel : +351 239 410004/859900/85959/

fax : +351 239 827994

gaspe@ci.uc.pt

www.uc.pt/gasp

Maria Filomena MARQUES DE CARVALHO (国際関係担当)

tel : +351 239 852600

fax : +351 239 852601

fmc.@ci.uc.pt

www.uc.pt

Coimbra University 社会支援活動 (学生向レストラン、精神的な支援、奨学金を提供)

www.uc.pt/SASUC

文部省 : <http://www.desup.min-edu.pt>

ヨーロッパおよび国際関係サービス - GAERI

Georgina ESTEVES (ディレクター)

georgina.esteves@min-edu.pt

国立エラスムス機関

Agência Nacional para os programas Comunitários

Sócrates eLeonardo da Vinci:

www.socleo.pt

Mrs. Maria João Donato
Director
mdonato@socleo.pt

スペイン

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Dra. M^a Helena del Campo Adrián
Prof. of the UNED
Psychology Faculty
Coordinator of the “Unidad de Atención a la Discapacidad de la UNED”

(UNEDの障害のためのケアユニット)

mcampo@psi.uned.es

[学生への財政支援]

スペイン人学生

スペインの大学は大学ごとに授業の割引や免除の規定を作ることが出来ます。したがって、学費に関しては各大学に直接問い合わせた方がよいでしょう。スペイン政府は国立大学に対して授業料割引の規定を作るようには強制はしていません。障害のある学生（障害の割合が33%以上という証明書がある場合）に対しては、授業料の割引がある大学もあります。公的証明書は「移住・社会福祉機構」で取得することができます。

外国人学生

スペインの大学に登録をしている正規の外国人学生は、スペイン人学生と同等の支援を受けることが出来ます。もし学生に何かの障害があれば、大学が提供できるすべてのタイプの技術的支援を得ることが出来ます。

経済的な援助を得るためには、どういった支援が受けられるのかスペインと自国のエラスムス機関にコンタクトをとって情報を得ることが大切です。

[リンク]

スペイン領内における、障害者向けの公的・私的組織のサイトのリスト

CEAPAT : <http://www.seg-social.es>

IMSERSO : <http://www.seg-social.es/imserso>

REAL PATRONATO : <http://www.rpd.es>

COCEMFE : <http://www.cocemfe.es>

ONCE : <http://www.once.es>

MEC : <http://www.mec.es>

MTA : <http://www.mtas.es>

[特別な配慮]

公立大学における基準ルールは現在作成中です。ルールにはすべて障害のある学生のニーズに関する条項が含まれています。障害のある学生に対する支援は様々で、各大学のケアユニットから提供されます。

[遠隔教育]

UNED (Universidad Nacional de Educación a Distancia) で遠隔教育の情報が得られます。過去数年の間、障害の

ある学生に教育の平等機会が与えられるようにと、社会は変化してきました。障害のある学生も公平な待遇に基づいて教育にアクセスできる機会を与えられることが大切です。UNEDに登録された障害のある学生の数は、過去10年間で急増しています(現在1,900名)。UNEDには、障害のある学生用のケアユニットがあります。このユニットは、障害のある学生もない学生も同じ機会が与えられることを目的としています。

情報はこちらで：<http://www.uned.es>

スウェーデン

[プロジェクト・パートナー連絡先]

Monica Svalfors, national administrative officer (担当職員)
Studentbyrå/Division for Student Affairs

Stockholm University

SE-106 91 Stockholm

tel : +46 (0)8 162170

fax : +46 (0)8 161397

monica.svalfors@sb.su.se

www.studeramedfunktionshinder.nu

スウェーデンの高等教育機関は障害のある学生に行き届いたサービスを提供しています。各機関には専任のコーディネーターがおり、教育プログラムやコースについての(広義の)アクセシビリティに関する質問を受け付けています。

スウェーデンの学生は、入学を申請する大学のコーディネーターに出来るだけ早くコンタクトを取ることを勧められます。これは交換留学生にも当てはまります。

早めのコンタクトが重要です。コーディネーターが個々の学生に対して最適な支援体制を整えるためには十分な時間が必要です。支援体制には、キャンパス内での支援、個人的な支援、手話通訳、様々な形の教育補助支援等、また教師や適切な人員の準備も含まれます。

すべてのコーディネーターは下記のサイトでコンタクトが取れます。

www.studeramedfunktionshinder.nu

各大学は、障害のある学生に対する特別な教育支援のためのコストをカバーできるように資金を準備しておかなければなりません。財源の大部分は全国でプールされた資金から毎年配分されます。さらに、様々な公的機関は、それぞれ特定の支援コストを負担するようになっています。

例えば、Sisus (特別な教育支援のための国立機関)は、個人的なニーズ支援の分野のサービスを提供します。同様に、TPB (トーキングブックと点字図書館)は、読むことに関して困難が生じる学生(失読症、視覚障害、四肢障害)にトーキングブック、e-テキストまたは点字テキストを提供します。大学のコースが始まる前に、時間的余裕を持って、TPBにリーディング・リストを渡し

ておくことは非常に重要です。

国内の障害のある学生に対する支援は、交換留学生にも適用されます。

教育補助支援を受けるためには、ローカルなコーディネーターとコンタクトを取る必要があります。できるだけ早くコンタクトを取ってください！

[利用可能なサービスの例]

手話通訳

リーダー (読み手)

ノート・テイキング支援

文書校正

助手

技術的援助

特別授業・個人指導

試験のための時間延長

ペーパーの試験ではなく口答試験 (あるいは逆)

メンター

個人個人に合わせたシラバス

[リンク]

www.programkontoret.se

教育とトレーニングのための国際プログラム・オフィスは、スウェーデンでエラスムス交換留学制度に対して全面的な責任があります。

www.studeramedfunktionshinder.nu

すべてのコーディネーターは、コンタクトを取るための情報を流している、このサイトに載っています。

www.tpb.se

TPB (トーキングブックと点字図書館) は、読むことに関して困難が生じる学生 (失読症、視覚障害、四肢障害) にサービスを提供します。

www.sisus.se

Sisus (特別な教育支援のための国立機関) は、個人的なニーズ支援の分野のサービスを提供します。

www.sisus.se/thut

THUT。地域における障害のある学生のための物理的なアクセシビリティに関するスウェーデン語のガイド。

www.hsv.se/english

国立高等教育機関

www.studera.nu

国立高等教育機関のスウェーデン人学生のためのページ。彼らが知るべきことが載っています。

www.sfs.se

スウェーデン全国学生組合 (SFS)。このサイトではSFSの運営委員・事務局や個々の国中の各学生組合のために組合活動についての情報を載せています。

www.si.se

スウェーデン研究所 (SI) はスウェーデンをマーケティングする公の機関です。スウェーデン人の生活、習慣、文化的生活の情報や、研究活動など

www.studyin.sweden.se

短期留学生向けの、スウェーデン研究所 (SI) のウェブサイト (英語)。

www.natuniversitetet.se

スウェーデン・ネット大学。スウェーデンの大学の遠隔教育のデータベース。

utbildning.regeringen.se

文部科学省

www.ho.se

スウェーデンの障害者オンブズマン

[特別な配慮]

大学における学生均等処遇法は2003年3月1日に施行されました。この新しい法律は大学または高等教育機関において、すべての学生が出生、性別、性的指向、障害に関わらず同等に教育を受ける権利を保障しています。この法律は学生生活のあらゆる場面 (入学申請、学習環境、授業、試験) で有効です。すべての大学は学生の平等な権利 (人種、性別、性的指向、障害に関わらず) を強化するために、毎年行動計画を作成することが義務付けられています。

[遠隔教育]

いくつかの大学および高等教育機関には遠隔教育のプログラムがあります。その多くは下記のデータベースに載っています。

www.natuniversitetet.se

英国

英国のHEAGプロジェクト・パートナーはSkill (障害のある学生のための全国事務局) です。

Skill: 障害のある学生のための全国事務局は、英国のチャリティー団体です。Skillは16歳以上の障害のある人々のため、教育及び訓練の機会を改善することを目標としています。Skillのウェブサイトで、活動についての冊子をお求めいただけます。

www.skill.org.uk

Skillは大学を運営しておらず、学生に対しての資金援助も行いません。

Skill

月曜日～木曜日、1:30pm - 4:30pm

tel: 0800 328 5050 (音声)、0800 068 2422 (テキスト)

info@skill.org.uk

www.skill.org.uk

[リンク]

www.ucas.ac.uk

大学入学事務局 (UCAS) のウェブサイト

www.ukcosa.org.uk

英国の国際教育カウンシルのウェブサイト

www.dfes.gov.uk

高等教育の担当省である教育・技術省のウェブサイト
http://www.dfes.gov.uk/studentsupport/students/stu_students_with_d.shtml/

特に障害のある学生のための情報があります。

www.erasmus.ac.uk

エラスムス・スキームおよび奨学金について

www.learnndirect.co.uk

成人教育のための全国電話相談

www.radar.org.uk

障害とリハビリテーションのための王立協会のウェブサイト

[遠隔教育]

英国では、多くの大学が遠隔教育コースを提供しています。どういったコースがあるのか、ここの大学に直接問い合わせてください。

www.open.ac.uk

オープン・ユニバーシティ

www.oca-uk.com

芸術関係のオープン・カレッジ

www.nec.ac.uk

全国生涯教育カレッジ

謝 辞

邦訳を許可し、貴重な情報提供をし続けてくれるEu-

ropean Agency for Development in Special Needs Educationのプロジェクトマネージャー、Dr. Amanda Watkins他、インスブルックでの会議の参加者一同に深く感謝するとともに、日本語版データベースの作成に力を注いできた笹川あゆみ氏に感謝する。

参考文献

第5回高等教育と障害者の国際会議：The 5th International Conference on Higher Education & Disability、<http://www.unotraco.org/conf2004/>

特別な配慮を要する教育の開発のための欧州機関：European Agency for Special Needs Education、<http://www.european-agency.org/>

欧州諸国における高等教育アクセシブルガイド：HEAG database, The Higher Education Accessibility Guide in European Countries、www.heagnet.org

EU諸国の大学における障害者支援データベース、<http://www.nime.ac.jp/~disable/>

広瀬洋子研究室 <http://www.nime.ac.jp/~hirose/>



ひろせ ようこ
広瀬 洋子

メディア教育開発センター・研究開発部・助教授。メディア活用系・多様な学生への支援：障害者支援プロジェクト主査。慶応義塾大学文学部卒業後、オックスフォード大学大学院修士号取得。三菱化成生命科学研究所特別研究員を経て、放送教育開発センター助手、助教授をへて現在に至る。日本教育工学会、日本教育メディア学会会員。<http://www.nime.ac.jp/~hirose/>

Support Systems for Students with Disabilities in EU Countries HEAG Date Base

Yoko Hirose

In this paper, I would like to introduce a brief survey of the change of support systems for students with disabilities in European countries and present the Japanese version of HEAG database, The Higher Education Accessibility Guide in European Countries. This database provides a guide with information regarding disability support services in seventeen European countries, which may help students and their teachers make decisions about possibilities for study programmes and exchange activities.

Keywords

Disability, Higher Education, EU, Database